

第28回 称名寺薪能 前売り券 3月15日発売開始！

4月29日(火・祝)の公演に先立ち、前売券の販売を開始します。

開催概要

「称名寺薪能」は、金沢区内を舞台とする能の演目「六浦」「放下僧」があることがきっかけとなり、金沢区政50周年を記念して、称名寺薪能実行委員会と金沢区の共催で始まり、今回で28回目を迎えます。区民等で構成された実行委員会やボランティアにより運営されており、自然の中で伝統芸能を堪能できる催事として、多くの区民に親しまれています。

今回の能の演目は「竹生島」で春の琵琶湖の風景や弁財天と竜神の活躍が描かれる祝言能です。金沢八景にある琵琶島神社は北条政子が竹生島弁財天を勧請して創建したと伝えられています。狂言は「舟渡聲」です。聲入りのために渡し船に乗った男の持っている酒樽に目をつけた船頭は、手を尽くして酒を振る舞ってもらいます。船頭が家に帰ると先ほどの男が聲として来ていて、気まずい船頭が男に顔を見られまいとする振る舞いに注目です。

上演前には、出演者による能と狂言の解説があり、公募により参加する子どもたちが金沢区に伝わる演目の連吟(能の一部を謡う)を舞台上で披露します。また、区内各地で古くから活動している金沢木遣囃子保存会が唄を披露するほか、松明を持って篝火に火を灯す火入れ役を観覧者から募集するなど区民も参加し、これから始まる薪能の大事な一場面での貴重な経験ができます。

日時: 令和7年4月29日(火・祝) 17時開演(16時開場)

場所: 称名寺境内特設能舞台(金沢町 212-1) 雨天時は金沢公会堂で開催(2部制)

主催: 称名寺薪能実行委員会、共催: 金沢区役所

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



演目・出演者：

能 「竹生島」

櫻間 右陣さくらま うしん (シテ方こんばる金春流、重要無形文化財総合指定保持者)他

狂言 「舟渡賀」

野村 萬斎ふなわたしむこ (狂言方こんばる和泉流、重要無形文化財総合指定保持者)他

能：竹生島
竜神



撮影：前島写真店

狂言：舟渡賀
船頭と賀



撮影：三上文規

前売り券販売情報

<区役所販売>

全席指定で、1人6枚まで購入可。区役所窓口販売分は各席500円引きとなります。

日 時：令和7年3月15日(土)、16日(日) 9時～16時(売り切れ次第終了)

場 所：金沢区役所1階1号会議室 (支払い方法は現金のみ)

<WEBでの販売>

日 時：令和7年3月15日(土) 10時～ チケットぴあ、カンフェティ HP から

全席指定：S席7,500円、A席6,500円

※当日券については、16時より称名寺仁王門横にて販売予定(雨天会場開催時は販売しません。)

【取材について】

「第28回称名寺薪能」開催当日の取材につきましては、受付にてお受けいたします。

当日の問合せ先(称名寺薪能実行委員会) 080-4205-4139

お問合せ先

称名寺薪能実行委員会 (事務局 さくらまかい 櫻間會)

Tel 03-3556-6176

金沢区地域振興課長 米山 岳夫

Tel 045-788-7800



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



金沢区役所 共催

第28回

称名寺薪能

しょうみょうじ たきぎのう

令和7年

4月29日(祝・火)

開演 17時(開場 16時)

3月15日(土)

チケット販売開始

称名寺境内特設能舞台

全席指定 S席 7,500円
A席 6,500円

ふなわたしむこ

狂言 舟渡聳
野村萬斎



撮影 前島写真店

ちくぶしま
能 竹生島
櫻間右陣



撮影 三上文規

チケット販売 (金沢区役所での販売は現金のみ取り扱い可)

- ・金沢区役所(1階1号会議室) 3月15日(土)・16日(日) 9時より16時まで(一人6枚まで)
★金沢区役所での両日販売分に限り各500円の特別割引【3月15日 8時より整理券配布】
- ・チケットぴあ 3月15日(土) 10時より
- ・カンフェティ《Confetti》 3月15日(土) 10時より
電話受付 3月17日より(平日10時~17時) 050-3092-0051 オペレーター対応
- ・3月17日(月)以降 称名寺薪能実行委員会(事務局 櫻間會)
Tel&Fax 03-3556-6176(平日10時~17時)

f 称名寺薪能



櫻間會HP



《当日券は14時より仁王門横にて販売予定。雨天会場開催時は当日券の販売はありません》

雨天時は横浜市金沢公会堂で公演【2部制/第1部 開演13時(開場12時)/第2部 17時(開場16時)】

称名寺薪能

令和7年 4月29日(祝・火)

17時開演(16時開場)

称名寺境内特設能舞台

解説 野村萬斎
櫻間右陣

連吟 放下僧 子供連吟参加者

連吟 六浦 金沢八景教室受講生

木遣囃子 金沢区木遣囃子保存会

火入式

狂言 舟渡賀

シテ／船頭・舅

アド／賀

小アド／姑

能 竹生島

シテ／老翁 後に 竜神

ツレ／女 後に 弁財天

ワキ／大臣

間／天女 奉仕の能力

笛

小鼓

大鼓

太鼓

(終演予定 19時30分頃)

あらすじ

狂言 舟渡賀

シテ 野村萬斎



無心する。賀は仕方なく酒を飲ませてしま
い、すっかり中身の軽くなった酒樽を持って
姑(小アド)のいる嫁の家に通してもら
一方の船頭が帰宅すると、そこに居た男の
顔を見て…
酒を飲みたい船頭は賀から振る舞ってもら
うためにあれこれ手を尽くします。賀に顔を
見られたくない舅のふるまひも注目です。

能 竹生島

シテ 櫻間右陣



延喜帝に仕える臣下(ワ
キ)が竹生島参詣のため
に琵琶湖畔に着くと、漁
翁(前シテ)が若い女(前
ツレ)を乗せている舟を
見つけ同乗させてもら
う。翁は朝臣を竹生島の弁財天のところへ連れ
て行くが、朝臣がこの島は女人禁制と聞い
ていると問うと、弁財天は女体の神なのだ
から不思議はないと言って島の由来を物語
ったのち、自分たちは実は人間ではないと言
い残して、女は社壇の中へ、翁は波間へと
消える。
暫くすると御殿が鳴動して弁財天(後ツレ)
が姿を現し、舞楽を奏する内に、湖から龍
神(後シテ)が現われて光り輝く金銀珠玉
を朝臣に捧げ、勇ましさを示した後、衆生
済度、国土守護を約束して龍宮へと入って
いく。
金沢八景の琵琶島神社は北条政子が竹生島
弁財天を勧請して創建したと伝えられます。
春の琵琶湖の風景や、弁財天と竜神の活躍が
描かれる祝言能です。

称名寺薪能をよりお楽しみいただくために…

出演者による講座 「称名寺薪能」事前講座
能のシテを演じる出演者が見どころや楽しみ方をご紹介します

3月29日(土) ①10時30分～12時
②14時～15時30分
どちらも内容は同じです

講師 櫻間右陣師(能「竹生島」のシテ)

会場 金沢公会堂 会議室

定員 各回先着60名(予定)

参加費 各回1000円

チケット 3月15・16日に金沢区役所で薪能チケットと同時販売

問合せ 称名寺薪能実行委員会(事務局 櫻間會)
Tel&Fax 03-3556-6176

神奈川県立金沢文庫 能「竹生島」と狂言「舟渡賀」のたのしみかた
による薪能協力講座

4月20日(日) 13時30分～15時

講師 貫井裕恵氏(神奈川県立金沢文庫 学芸員)

会場 神奈川県立金沢文庫 地下1階大会議室

定員 70名(予定/定員を超えた場合は抽選)

参加費 無料(※)

申込み方法 往復葉書(1人1枚 ※複数名の申し込み不可) 返信面に「薪能協力講座希望」・住所・氏名 電話番号を明記の上、県立金沢文庫宛に郵送。または金沢文庫HP「講座申込フォーム」から。4月3日(木)必着

問合せ 神奈川県立金沢文庫
〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142
Tel.045-701-9069 Fax.045-788-1060

※別途、県立金沢文庫の当日観覧券が必要です。
第28回称名寺薪能のチケット提示で団体割引適用。

称名寺境内特設能舞台

横浜市金沢区金沢町212-1
◇京急線 金沢文庫駅下車(東口)徒歩12分
◇バス(文13) 柴町行「称名寺」下車すぐ
◇金沢シーサイドライン
海の公園柴口駅・南口駅下車 各徒歩12分
*称名寺に駐車場はございません

雨天時
横浜市金沢公会堂
(金沢区総合庁舎内)

主催/称名寺薪能実行委員会 共催/金沢区役所
協賛/ ミツハシライズ 京急百貨店 三菱重工環境・化学エンジニアリング 医療法人社団 景翠会 金沢病院グループ
有限会社湘南仲介センター ムスィホーム株式会社 瀬戸神社 一般社団法人横浜金沢観光協会
協力/称名寺 神奈川県立金沢文庫 金沢町町内会 金沢区商店街連合会 うみとそらのおうち 平館平 新井紳地 春日部八幡神社
金沢消防団第4分団 金沢区木遣囃子保存会 一般社団法人「遊街」 855

特別協力/一般社団法人櫻間會

お問い合わせ… 称名寺薪能実行委員会(櫻間會) Tel&Fax 03-3556-6176 (平日10時～17時)